

創立 1980年10月8日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

例会場 〒590-0073 堺市南向陽町 2-2-25 ホテル第一堺
例会日 毎週金曜日 12時30分 Tel.(072)227-1000
事務所 ホテル第一堺内 Tel.(072)223-4777 Fax.(072)223-6519
E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp

姉妹クラブ
第3690地区
南仁川RC

ガバナー(第2640地区) 中島治一郎
ガバナー事務所HP : <http://www.rid2640g.org/nakajima/>
E-mail : info@ri2640d.jp



会長：山野俊一 幹事：鷺岡真人 会報委員長：池田茂雄 編集者：綿谷伸一

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

本日の例会

2004年10月29日(金)
第1172回例会(今年度第17回)

卓話「手づくりの週報」

池田茂雄 会員

今週の歌「それこそロータリー」
「ぞうさん」

お客様の紹介・出席報告・会長の時間
委員会報告・幹事報告・SAA報告

前回例会の報告

2004年10月22日(金)第1171回例会

卓話「ガバナー公式訪問」
ガバナー 中島治一郎様
「第2回クラブアッセンブリー」

今週の歌「それこそロータリー」
「ちいさい秋みつけた」

お客様の紹介

ガバナー 中島治一郎様
ガバナー補佐 万代恒美様
泉大津RC 榎本善夫様
米山奨学生 鄭錦華様

出席報告・会長の時間
委員会報告・幹事報告・SAA報告

次回の例会

2004年11月5日(金)
第1173回例会

卓話「ロータリー財団月間」
河井要祐 委員長

10月はロータリー
職業奉仕月間・米山月間

<10月22日の出席報告>

会員数	42名
出席会員	27名
欠席会員	15名
ゲスト	3名
ビジター	1名
10月1日の出席率	86.21%



2004~2005年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーを祝おう - 100年のあゆみ -

国際ロータリー会長 グレン E. エステス Sr.

卓 話

「ガバナー公式訪問」

RI 第 2640 地区 ガバナー 中島治一郎様



私、1986～7年に当地区のガバナーを努めておりまして、今回 18 年ぶりに再登場させて頂いております。ガバナー補佐の方

が来られまして、このところ3年間、ガバナーが来られない「公式訪問」が続いたので、ガバナーと久しぶりに会う公式訪問もよいのではと歓迎を頂いており喜んでおります。堺北クラブに寄せて頂いて先程 30 分ばかり、会長さん、幹事さんとの懇談会を致しました。会長さんから開口一番、次のようなお話がありました。「ロータリーはアメリカに本部があって、アメリカ政府が世界にいろいろなことを押しつけるように、ロータリーも「エバンストン」からいろいろ押しつけるというのは良くない。日本には日本独自の文化があり、日本の考えを取り入れた運営をやって頂きたい」とのリクエストがありました。私も、その通りだとお答えしました。

皆さんお気づきかどうか、「R-O-T-A-R-Y」と言う歌の歌詞の中に「North to South .From East to west」と言う部分があります。アメリカでは私達が「東西南北」と呼んでいるのを「北南東西」と呼んでいるんです。北が一番でして、私達には考えにくいことでもあります。彼等にとっては「東西南北」は考えられないことです。私達は太陽が昇る東から始まるのが当たり前と思っておりますが、あちらは航海で発展してきた国ですので、「北」が、先ず、一番なのであります。磁石は「北」を向いているではないかと言うことです。このように、これ一つをとりましても彼等の考え方の基盤は、私達の考え方と相違しているのであります。どこかで調整が必要です。アメリカのロータリーをそのまま日本で適用しようと思ってもうまく行かないと、私も思っております。

今年6月、シカゴで「規定審議会」が開かれました。そこで諮られた案件の一つに、私達が大切にしておりますモットーとして「最も良く奉仕する者は、最も多く報いられる」と言うのがありますが、英語では「He Profits Most Who Serves Best」と言います。この中に「he」と言う文字がありますが、これは男性主語であり、いけないと女性代議員から駄目がでました。そこで、いろいろと議論され、「he(彼)」ではなくて、「our(私達の)」とか「they(みんなの)」が提案され、その結果「they」が採用されました。すると、日本の代議員から、それは困るとの意見が出されました。「they」は複数語であり、私達は過去に「アイ・サーブ・I serve」と言うことを強く主張してきた。これには背景があって、私達の奉仕と言うのは「一人一人の心のこもった奉仕」を大切にしようと言うことです。心のこもった奉仕であるから奉仕している人の人格の向上を期待することが出来るのであって、どうしても複数語は駄目だと提案したのであります。しかし乍ら、これは全然相手にしてもらえなかったのであります。「アイ・サーブ」とか「ウィー・サーブ・we serve」と言っているが、あれは何だといった感じで受け取られてしまいました。一般のロータリアンの中の議論ではなくて、代議員の中の議論としても、もはや「アイ・サーブ」とか「ウィー・サーブ」は議論にならなくなっています。「ロータリー」と「ライオンズ」との差は何かと言われたときに、私達は「アイ・サーブ」と言うことで、一人一人の心のこもった奉仕を大切にしてきたことでもあります。そこには人づくりに取り組もうとする真剣な思いがあったのであります。「ウィー・サーブ」を看板に掲げてスタートした「ライオンズ」と大きく違っているところでもあります。今や、このことが議論にならなくなってきたのであります。日本からの代議員が盛んに主張したのであります。グレンE.エステスRI会長はじめ理事の皆さんもまあいいじゃないか、日本語ではどうなっているんですか、と聞かれたのであります。日本語には主語がないんです。「最も良く奉仕する者は、最も多く報いられる」。「he」も「our」も「they」もないんです。と

言ったら、それなら論争にならなくてうまく行くではないですか。日本の皆さんは「私」と思っておられたらよいではないですかと言われました。私達は、これからも一人一人の心のこもった奉仕を大切にして行きたいと思っております。

現在、英国では「地方分権」と言う考え方で英国のための別の組織がありますが、R Iも恐れているのであります。これが広がっては困ると言うことで、英国方式も考えなければと言われております。アメリカ方式を押しつけるのは良くないと言うことで気遣いをしているところでもあります。このように、18年前と現在では、ロータリーのあり方とか、考え方も変化してきております。「人づくり」はロータリーにとって重要な考え方ですが、あまりそのようなことにはこだわらない方向で進んでおります。しかし乍ら、このような肝心なことはよく話し合っていかなければ駄目です。ロータリーのあり方は、国によって運営の方法は違ってもよいが、いわゆる哲学に近い根本的な考え方については、変わりがあるてはならないのではと思っております。日本が一番真面目に本道を歩んでいるなどと言う感じが致します。日本が模範を示すべき時ではないかなと思うわけです。

グレンE.エステス会長は、今年は100周年の年ですが、過去の100年を振り返り、最初の「4人」から「120万人」になったのだから、かなり良いところも沢山あるでしょう。どういうところが良いところなのか、どこが悪いところなのかを反省して、悪いところは直し、良いところは伸ばさせるように、きちっとロータリーの「かたち」を決めて新しい世紀に向けて踏み出そうではないか。そういう「かたち」が定まったところで今年を振り返って、この100周年は良い年であったなと皆で祝いましょうと提案しております。

今年2月に「国際協議会」が開催されました。「次期R I会長」が「次期ガバナー」を集めまして、1週間勉強会を開くわけでございます。R Iのことについて、「四大奉仕」はもちろんのこと、あらゆる事柄につき、討議や質疑応答など盛んにやります。次期ガバナーが、それぞれ

自分の地区ではロータリーのことを一番よく分かっている、少なくとも自分は次期R I会長の方針については一番よく分かっていると自信を持って、地区へ帰ってもらうような仕組みが国際協議会であります。アメリカは、このような仕組みは非常に上手でありまして、マニュアルの作成、セミナー形式などうまく仕上げで参加者が納得できるように進めていきます。18年前のR Iは、三角形の頂点にいる会長がリーダーシップを発揮し、それをガバナーが地区に持ち帰って受け継ぎをすると言うやり方をしていました。それが完全に覆ってきました。このところのR I会長は続けて「草の根運動」を推進しております。R Iの組織は、逆三角形であって各クラブが上で活躍する、それを支えるのがR Iの会長であり理事であり、又、ガバナーであるということです。各クラブとその会員が活性化されて、はじめて組織が活性化するのであります。3年前の「ビチャイ・ラタクル会長」が「草の根運動」を提唱されました。とても立派な人格者であります。その翌年、「ジョナサンB.マジアベ氏」がR I会長となられ、そして今年、「グレンE.エステス氏」が会長になりました。皆さん、同じ考え方を踏襲すると言われております。

今年度のグレンE.エステスR I会長から各クラブに次の事をお願いして欲しいと頼まれました。これは、重要事項でございます。

先ず、第一番目が「会員増強」でございます。120万人会員の会長になられましたので、同志が増えることを唱えられるのは当然のことです。私自身は、会員増強という言葉あまり好みません。と申しますのは過去においては、今年度は純増何パーセントを目標にしたいといった上からの押しつけで行われていました。私は良い印象を持っておりません。従って、今年度は会員増強委員会を作りませんでした。会員増強の問題は、各クラブがどういう姿であるべきかなど、それぞれのクラブで考えるものであって、その中で増やすのか、今のままで行くのかを真剣に討議して決めて頂きたいと言うことでもあります。もう少し増やさないとな力が出ないなあと言うことになった時に、どのように増や

すのかをクラブで考えて頂きたい。そして、そういうノウハウについて分からないことがあれば相談して頂きたい。そして、皆さん自身が定めた目標に向かって、全員参加で努力して頂きたい。これがあるべき姿であると私は思っています。

さて、今、世界で一番会員を増やしているのは「ドイツ」であり、一番減らしているのは「日本」であります。経済の力、国民性、ものの考え方など、よく似た二つの国が、片方は増える、片方は減る、まったく正反対の結果が出ております。しかも、「ドイツの増加は世界一」であり、「日本の減少も世界一」であります。なぜでしょうか。考える必要があります。ドイツはルールを非常に厳しく運用している国であります。R Iは、ここ 10 年間あまり、ルールをゆるめっぱなしであります。「一業種一人」はポール・ハリスが4人でスタートした時から堅持している大切なルールであります。今では5人までよいとなったわけです。これでは、従来のような業界の代表と言う意識が薄れてしまいます。又、メイクアップにつきましても、以前は「前後2週間」でしたが、「今では前後4週間」となりました。テリトリーも非常にゆるんでおります。このようになった目的は、会員を増やすためです。ドイツは、これを聞き入れなかった。しかも、入会金を厳しくした。入会しにくいクラブには、入りたくなる、退会者が出なくなるものであります。ルールをゆるめたことにより誇りを失いつつあります。この誇りを取り戻すことの必要を感じます。

2番目は、「ロータリー財団」についてであります。グレンE.エステス会長はロータリー財団に対して支援の要請をしておられますが、これは「寄付」を言っておられるわけではありません。私達ロータリアンが国際奉仕をやり易くするためにロータリー財団があり、そこには沢山のプログラムが用意されております。そのことを皆さんに先ず、認識してもらいたいと言うのがR I会長のお願いでございます。そして、良いプログラムがあると言うことを認識して頂くだけではなくて、それを活用することを皆さんに勧めて頂きたいと言うことであります。財団

には国際親善奨学生と言う素晴らしいプログラムがあります。私共の地区では毎年 15 名前後の奨学生を送り出しております。最近の傾向としては女性の方ばかりで、男性は、1~2名です。そして、ほとんどが文科系であります。財団を意義あらしめるためには、もっと男性が参加して理科系で優秀な成績をあげ帰国してほしい。皆さんがそう思われるなら、もっと財団プログラムを活用して頂きたい。自分達の地域社会から優秀な候補者を出して頂きたい。これ以外、このプログラムを活用する方法はないのであります。地元の学校を訪問して、優秀な候補者を探す努力をして欲しい。熱意があり外国に行って、もっともっと勉強したいと言う学生はきっといるはずで。先ず「寄付ありき」ではなくて、先ず「プログラムありき」であります。それを生かすことが大事であると言う認識をして頂きたい。

三番目が「ポリオ」でございますが、時間がなくなりました。又、米山奨学会についてもお話をしたいのでありますが、のちほどの協議会の中でお話したいと思っております。ご静聴有り難うございました。

会長の時間

山野俊一 会長

台風 23 号は九州から四国、近畿から本土を縦断、またまた各地に多大な被害をもたらしました。不幸にも災害で亡くなられた方々には心より哀悼の念を、又、被災にあわれた方々に心からお見舞いを申し上げます。今年は地震と台風で、特に関西に大きな被害をもたらしました。プロ野球の近鉄とオリックスとの合併、ダイエーの整理など、それだけでなくとも景気の低迷している関西においては、大変な年。もちろんロータリーの運営も厳しいものがあります。世界情勢も不安な情勢です。こんなときに、本日はガバナーをお迎えしました。貴重なお話をいただけるものと思っております。どうか皆さん真剣に拝聴お願いします。

委員会報告

あるこう会

城岡陽志 代表世話人

当初、10月31日(日)に実施予定の『武田尾温泉ハイキング』ですが、メンバー各位の急用等で欠席者が多く、又、紅葉シーズンには少し早いこともあり、急きょ11月23日(火)〈勤労感謝の日〉に変更致します。再度、参加の程、お願い申し上げます。

幹事報告

(1) 他クラブ例会変更

堺泉ヶ丘ロータリークラブ

11月9日(火) 11月14日(日)

於・堺市役所 南支所

南区域ふれあいまつり

堺東南ロータリークラブ

11月11日(木) 同日 12:00~

於・泉北高速鉄道 駅前 献血奉仕活動

11月18日(木) 11月21日(日)

於・兵庫県 三田・北野方面(秋の家族会)

高師浜ロータリークラブ

11月18日(木) 同日 18:00~

於・羽衣迎賓館「1000回記念例会」

(2) 事務局よりお知らせ

10月27日(水)午後、事務局は休ませていただきます。

S A A報告

万代恒美 ガバナー補佐より頂いております。

徳田 稔 先週は親睦委員の方々、ご苦労様でした。欠席してすみません。

島田 衛 京都での親睦旅行。家内も喜んでくれました。

池田茂雄 秋の親睦旅行、行けなくて申し訳ありませんでした。おみやげ有難うございます。

山ノ内修一 先日の家族旅行、多数ご参加頂き有難うございます。

城岡陽志 今夜、青年会議所シニアクラブの総

会で会長の仕事が終了します。一年間、大変でした。ロータリー欠席がちですみませんでした。

山野俊一 中島治一郎ガバナー様 万代恒美ガバナー補佐様 ようこそおいでいただきました。よろしく御指導願います。

堺北RC会員一同 ガバナーをお迎えして。

合計 47,000円

第2回クラブアッセンブリー

平成16年10月22日(金)

「ガバナー公式訪問」

クラブ奉仕委員会

山ノ内修一 委員長

活動方針

クラブ奉仕に所属する各委員会と連携を密にし、会員増強、退会防止につとめ、充実し活性度のあるクラブ作りを目指す。

活動計画

- (1) 各委員会との連携を深め、情報収集、情報交換を強め、会員増強、退会防止に努力する。
- (2) 会員相互の親睦を深めるとともに、楽しいクラブ作りを目指す。
- (3) 地区のテーマである「エイズ問題」への取り組みについて、堺市医療対策課と協議中で、近いうち、外部卓話を依頼する予定です。

職業分類委員会

城岡陽志 委員長

活動方針

職業分類表と現実の整合性のチェック

活動計画

職業分類表の見直し、並行して、新入会員がいないと仕事の無い委員会なので増強委員会にも協力して活動します。

会員選考委員会

堀畑好秀 委員長

- (1) 現在のところ新入会員推薦候補者なし。推薦者あり次第、速やかに調査し理事

会に報告する。

- (2) 候補者の資格評価については
人柄・世間の評判はどうか
会社の評判
奉仕の精神を備えているか
財務義務が果たせ、例会出席できるか
以上を選考基準とする。

(3) ガバナー公式訪問

今年の中島ガバナーに直接クラブ公式訪問を戴き、ガバナーの御意志が伝わり、我々クラブ会員、一人一人にとって大変勉強になりました。特に会員増強に対するコメントでは、ドイツでの増強が世界で一番で、減少しているのが日本だけであり、ドイツではルールを厳しく守り、一業種1人、メーキャップルールや入会基準等厳しくする事によりクラブに誇りを持たれていると言うお話を戴きました。今後のクラブのあり方について考えさせられました。

会員増強委員会

島田 衛 委員長

- (1) 8月18日(水) 会員増強委員会 アンケートの件
(2) 8月20日(金) 例会でアンケート用紙を配る。
(3) 9月6日(日) 会員増強委員会 PM 5時「銀屋」にて アンケート回答を検討
(4) 9月10日(金) 会員増強月間 フォーラム(出席会員にアンケートの報告)
(5) 9月17日(金) 新入会員候補者にインフォメーション用オアシスを写真入で作成
(6) 10月13日(水) 幹事からの新入会員候補者(持回り委員会) 書類・人物適格と認め了承。理事会に回す班別表及びパンフレットオアシスをお渡ししました。
(7) 中島ガバナーからの質問
班別は地域別ですか？

ガバナー指導

全員参加で努力してください。一例として、「田辺はまゆうRC」のお話を聞かせていただき、5名増強には10名を目標にしたとの事、有難く拝聴。

ロータリー情報委員会

宇瀬治夫 委員長

活動報告

- (1) 本日、第1回のインフォーマルミーティングを行います。会員増強委員会と合同により、ガバナー公式訪問を終えて、これから、会員増強について出席者20名により、多めに熱き思いを語り合しましょう。

16年10月22日金曜日18時30分～
開口神社宴会場(三上会員のご協力により)

- (2) 本年度中に、後1回ないし2回開催予定です。

他の委員会との合同により多くの意見交換をたく思っております。

- (3) 国際ロータリー2004年規定審議会の結果を熟読して本年度中には定款及び細則改正を行います。

出席委員会

中田 学 委員長

中島ガバナーへの質問

- (1) 出席委員会の委員に出席免除会員が所属してもいいかどうか。
(2) 出席率の計算方法に関する事
毎週の出席率は、出席免除会員を除いたクラブ会員数で割って算出するようにとありますが 当クラブの最高齢者 別所会員は出席率を高める為に遠方より毎週出席されています。出席された会員をあえて除かなくてもいいのではないのでしょうか。ガバナーのご意見をお聞きます。

クラブ会報委員会

池田茂雄 委員長

- (1) 毎週の例会日に発行する「週報」を、今年度からすべて「当クラブでの手作り」で行っております。原稿の収集から、編集、文章の入力、校正、印刷のすべてを当クラブの「クラブ会報委員会」のもとで事務局と共に行っております。編集等は委員が毎週輪番制により行っております。A3判用紙に片面2ページで両面4ページの印刷を原則としております。但し、原稿が多い時には、A4判用紙に両面2ページを加え、計6ページとして発行しております。
- (2) 出来るだけ見やすい、読んでもらいやすいものになるよう、編集や配列、それに文字の大きさなどを心掛けております。原稿が不足する場合がありますが、この場合にはガバナー事務所ホームページなどから、その時々に応じた記事を適宜抽出して補充したり、少しの空スペースができた場合には、ネット上から「イラスト」などを取り出して補充しています。最初のうちは、毎週支障なく発行できるかどうか心配でしたが、いざ手掛けてみると、スムーズに出来るようになりました。

親睦活動委員会

山ノ内修一 委員長

活動方針

親睦活動を通じて会員相互の親睦と友情を深め、楽しいクラブ作りに貢献できるよう努力する。

活動計画

- (1) 8月27日(金)には「ビア・パーティー」を、又、10月16日(金)には「秋の日帰り親睦家族旅行」を実施しました。
- (2) 今後の予定は、次の通りです。
 - ・ 忘年家族会
 - ・ 春の日帰り親睦家族会
 - ・ 最終例会家族会

雑誌広報委員会

塩田亮三 委員長

活動方針

- (1) 「ロータリーの友」を必ず読むように会員に勧める。
- (2) 会員に「友」への原稿投稿を依頼する。
- (3) ロータリー活動の広報に努力する。

活動計画

- (1) 「ロータリーの友」配布日に毎月委員が友の記事を紹介する。
- (2) クラブ内各委員会の活動をクラブ外の人々に知らせるため広報活動をする。

プログラム委員会

三上尚嘉 委員長

各月ごとの「月間テーマ卓話」を各関係委員長より提出して頂いております。又、会員の全員卓話という事についても目下順調に進んでおります。唯、出席率向上に直接役立っているかどうかについては、まだ何とも言えません。今後ともよろしく願います。

記録文献委員会

那須泰三 委員長

活動報告

- (1) プログラムをチェックし、委員会に計って計画的に写真を撮っています。
- (2) 年間行事や例会での写真を、毎月当番制にして各委員の負担を軽減しています。
- (3) デジタルカメラの写真の撮り方や保存方法を学習しました。

OA化委員会

武田 正 委員長

- (1) 会報の完全クラブ内制作に協力しました。
- (2) 会報をPDF形式にて保存します。
- (3) その他の書類もPDF化します。
- (4) 卓話の時間に第3回目のパソコン教室を開く予定です。

- 会員からデジカメの使い方も含めた教室をしてほしいとの希望がありました。
- (5) ホームページ作成の準備をします。

ガバナーからのコメント

ガバナーはサイバークラブには乗り気ではないが、正式に公認されたサイバークラブが発足するので、詳細は追ってお知らせするとのことでした。

職業奉仕委員会

北田和八 副委員長

活動方針

職業奉仕の方針に従い、クラブが企画、計画する職業奉仕活動及び職業奉仕に対して各会員に理解と知識を深めていきたいと思っています。

活動計画

- (1) 職業奉仕月間のフォーラムに講師を招いて理解を深めたい。
- (2) 他の委員会（情報、親睦等）とインフォーマルミーティング、工場見学会等を実施し、会員相互の考え方を話し合い、理解と親睦を深めたい。
- (3) 身近なロータリーボランティアの実施に努めたい。

社会奉仕委員会

城岡陽志 副委員長

活動方針

本年度からは、地区より今までのような、基本方針の発表はなく、各地区で、其の地区に合ったニーズを引き出して、決めて下さいとの事でした。決め方は、其の地区で権威のある方、「市長さん等」と話せたり出来る人や、クラブの中でも各業界の 1 の方のお集まりなので其の中で早急にニーズを探して、取り上げて実行して下さい、と言う指示でした。又、献血委員会を作して下さいとの指示を頂きました。

活動計画

- (1) 交通安全週間に堺東駅周辺において、堺北警察署や他クラブ、それに幼稚園児の子供達と一緒に、安全運動のアピール活動をさせて頂きました。
- (2) 堺仁徳御陵において、ガールスカウ

トさんと一緒に清掃を「12月」に行ないます。

- (3) 堺チンチン電車を愛する会の会長さんが、当クラブにいらっしゃいますので、当クラブ全会員が、愛する会の会員になり、愛する会を盛り上げ、ロータリークラブのアピールをしています。
- (4) ロータリー100年の森の趣旨に賛同して、出来る限りの協力をする。

新世代委員会

鷺岡真人 幹事

活動方針

- (1) 前年度の活動方針の継続。
- (2) 地区委員会の活動計画に協力する。

活動計画

- (1) ライラセミナー参加協力。
- (2) 近隣クラブとの意見交換と共同活動の実施。
- (3) 青少年健全育成のための情報発信・奉仕活動の推進。

国際奉仕委員会

綿谷伸一 委員長

- (1) 現在行なっている活動にポリオプラスがあります。いつもご協力頂きまして有難うございます。2000～01年度より地区では1人3,000円の寄付を行なっていますが、当クラブでは別口で、月に1回「ポリオバケツ」を設置、現時点で当クラブの募金総額が、1985年からの累計で「400万円」に達しました。バケツは我がクラブだけのものです。自信と誇りを持って推進したいと思います。
- (2) 春先かと聞いていますが、GSE(研究グループ交換)が訪問されます。当委員会ではGSE地区委員の塩田会員と共に歓迎し、国際レベルの教育及び文化活動に参加し協力する予定です。



ロータリー財団委員会

速水喜彦 委員

活動方針

奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する。
会員各位、愛ある資金調達にもご協力お願いいたします。

活動計画

- (1) W.C.S. 世界社会奉仕
- (2) G.S.E. 研究グループ交換
- (3) ポリオプラス (ポリオ撲滅宣言目標 2005 年)
- (4) C・A・P・地域社会援助 (2000 年 4 月～)
- (5) 国際親善奨学生の卓話を 11 月に予定
- (6) 米山奨学生の卓話 (中国より来日)
国際奉仕委員会、米山奨学委員会との協力により研究会を開催

米山奨学委員会

田中朝彦 委員長

- (1) 10 月 1 日(金)例会
米山奨学生 鄭錦華さんの卓話
卓題「私の留学生活」
- (2) 10 月 9 日(土)8 組 I M
米山委員長会議に小西副委員長と出席
- (3) 10 月 16 日(土)京都下鴨神社参拝
昼食「幾松」
米山奨学生 鄭錦華様 出席
彼女のお姉さん 招待
会員家族の皆様との親睦を深めました
- (4) 10 月 22 日(金)ガバナー公式訪問
米山奨学生 鄭錦華様 出席
- (5) 10 月 31 日(日)国際交流会(清風南海)
米山委員長、副委員長、米山奨学生参加予定

S A A

山崎市郎 S A A

- (1) クラブの例会及び各種会合の円滑な進行に努力する。
- (2) クラブの伝統、品位、威信の保持、高揚に努力する。

25 周年準備委員会

田中朝彦 委員長

記念事業については、その年度の会長である速水会長エレクトと島田副委員長とで会合を開き相談しながら準備を進めております。

ゴルフ同好会

山ノ内修一 代表世話人

活動方針

- (1) ゴルフを通じて、会員相互の親睦を深める。
- (2) 会員ご家族の参加を歓迎し、ロータリーへの理解を深めていただく。
- (3) 入会予定者の参加を歓迎し、ロータリーへの理解を深めていただき会員増強の一助とする。

活動計画

- (1) 「北輪会」を年 4 回開催する。
時期は、9 月、12 月、3 月、6 月の予定
- (2) 第 1 回は、9 月 1 日(水)「グリーンヒル和歌山ゴルフ倶楽部」にて開催しました。
- (3) 第 2 回は、11 月 27 日(土)に「泉ヶ丘カントリークラブ」にて開催を予定しております。
- (4) ロータリー親睦ゴルフ全国大会の案内。

写真同好会

田中朝彦 会員

- (1) 写真の撮影を通じて会員とその家族の交流を計る。
- (2) 「あるこう会」とともに撮影会等を実施したり、親睦家族会でスナップ写真を撮る。



あるこう会

城岡陽志 代表世話人

- (1) 毎年、春、秋のハイキングでは、当クラブメンバーや家族を中心に、堺北西ロータリーのメンバーやその家族、知人等にも声をかけて楽しくハイキングを実施しております。
- (2) 来る、11月23日(火曜日・祝日)には、JR生瀬駅から武田尾温泉までの約7kmを2時間半かけてきれいな渓谷ぞいにハイキングします。

その他

臨時理事会

理事会出席メンバー

山野、速水、綿谷、山ノ内、鷲岡、山崎
徳田、安田

日時 2004年10月22日(金)例会前

場所 ホテル第一堺

議案 1. 新入会員の件(第1回目)

K氏

承認

ロータリー情報

一口メモ

WCS・世界社会奉仕

世界社会奉仕(WCS)というのは、ひとつの国のひとつのクラブまたは、地区が他の国のクラブのプロジェクトに人道的な援助の手を差し延べるロータリープログラムです。典型的な例としては、そういう援助が発展途上の地域社会に送られてロータリーのプロジェクトがその地域の生活水準や生活の質を高める援助になるというケースです。世界社会奉仕の究極の目的は世界の人々の間に善意と理解を築き上げることです。

ガバナー公式訪問風景



(左)万代恒美ガバナー補佐 (右)中島治一郎ガバナー



会場風景



鷲岡幹事 万代ガバナー補佐

中島ガバナー 山野会長

